

令和8年度保育部会職員研修報告書

浜田市保育連盟会長 煙艸 のぞみ			保育部会長 松浦 清美		
開催 日時	令和 8年 8月 6日	開催場所	浜田市総合福祉 センター会議室	記 録 者	美川保育園 田子伸子
	13：30～15：30				
出席者	みのり、みのり第2、れんげ、ひかり、岡見、聖バルナバ、 今福、やさかこども園、ちどり、ちどり第2、三隅、つくし、 三保、あおい、うみかぜ、美川			欠 席 者	くもぎ

～読み聞かせで育つ子どもたち～
絵本専門士 鎌田 由美 氏

○なぜ読み聞かせをするの？
集団での読み聞かせ…子ども同士で共感できる良さがある

○読み聞かせをするにあたって悩むことは？
時間 5分くらいしか集中できない。その中でどういう絵本を選ぶか。
・導入→ストーリー性のあるもの
・応答性のあるもの

集中できない子ども 同じ部屋の中にいれば、聞いていないようでも聞いている。無理に輪の中に戻さなくても大丈夫。

展示 1～2週間おきに面出しする本を交換。
・季節の絵本 ・科学絵本：身近にあるものへの興味

読み方 ・読み方は本によって変える。
・紙芝居は抑揚をしっかりとつける。

●大切なのは「絵本ておもしろいよ」と読み手が思うこと

○選書
0歳 破裂音(ぱぴぷぺぽ)がある絵本ー音を楽しむ。
『ぽぽーぺ ぽびぱっぷ』『んぐまーま』『まんまんぱっ！』『いないいないばあ』

1歳 物の絵本(動物・乗り物等)「知っている」の確認
『さわらせて』…生き物との関わり方を知るきっかけ
『くっついた』…スキンシップをうながす

2歳 色や形がはっきりわかる絵本

『くだもの』『いちぢく にんじん』『やぎさんゆうびん』

3歳 物語が聞けるようになる

『あついあつい』『はなびドーン』『まぜてまぜて』→『しゃぼんだまとあそぼう』

物語が好きではない子もいる→科学絵本

4歳 登場人物の動きに関心が持てるようになる

『いちにちおばけ』『せんたくかあちゃん』

『おうさまがかえってくる100ぴょうまえ』

5歳 物語の展開に興味を持てるようになる

『ぐりとぐら』『かとりせんこう』

6歳 登場人物の心情を理解しようとし、それを自分の言葉で表現できるようになる

『カメレオンのかきごおりやさん』『くじらがしんだら』

『めっきらもっきらどおんどん』『さんびきのやぎのがらがらどん』

★定番物、昔話をぜひ！－知らない子が増えている

○保護者に伝えたいこと

愛着形成

子どもの成長の実感

★週1回、月1回でもいいので親子で絵本を読んで欲しい

・“自分のために読んでくれている”という安心感

・絵本を読んで関わりを持つ

○ワークショップ例と実践

『うみの100かいだてのいえ』

1人1枚画用紙を配り、海の生き物の家(一階分)を描く。

描いた絵を紹介し、つなげて飾る。

他の例)『もこもこ』…言葉を体で表現する

『たいこ』…順番に登場人物を演じる

夏の絵本をたくさん紹介していただきました。また、年齢に合った絵本も教えていただきました。絵本を通して遊びの広がりがたくさんあることを知ることが出来ました。

改めて絵本の良さを体感しました。

ワークショップでは、「100かいだてのいえ」を通して各園の先生方に様々な素材を使って絵を描いてもらい、感性豊かな個性あふれるものばかりでした。

絵本の読み聞かせは、親子のコミュニケーションにとってとても大切なことです。園でも絵本の素晴らしさや絵本の楽しさを子どもたちにたくさん伝えていこうと思います。

積極的に質問をされる先生もおられました。毎日絵本の読み聞かせをする中で、悩みや不安など話して講師の方に教えていただきました。各園たくさんの先生方が研修を受けられ、絵本を通して子どもたちに絵本の素晴らしさを今まで以上に伝えていかれるのではないかと思います。

